



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月4日

上場会社名 安田倉庫株式会社

上場取引所 東

コード番号 9324 URL <https://www.yasuda-soko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 信行

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 荒川 昌幸

TEL 03-3452-7311

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

2022年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (四半期決算説明の動画配信を予定しております)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	29,589	17.7	1,229	11.7	2,150	8.1	1,409	10.9
2022年3月期第2四半期	25,144	10.0	1,392	13.6	1,988	4.7	1,270	5.9

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,565百万円 (0.1%) 2022年3月期第2四半期 1,564百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	48.65	
2022年3月期第2四半期	43.87	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	159,038	76,089	47.6
2022年3月期	159,082	74,916	46.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 75,711百万円 2022年3月期 74,578百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		12.00		13.00	25.00
2023年3月期		12.50			
2023年3月期(予想)				12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,000	9.3	2,750	5.5	3,800	5.9	2,300	20.0	79.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	30,360,000 株	2022年3月期	30,360,000 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,395,882 株	2022年3月期	1,401,282 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	28,961,418 株	2022年3月期2Q	28,958,753 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や個人消費に持ち直しがみられ、ウィズコロナの新たな段階への移行が進む一方で、ウクライナ情勢の長期化や資源・エネルギー価格の上昇、円安の進行など、先行きは不透明な状況が続いています。

こうした経済情勢にあって、当社グループを取り巻く事業環境は、倉庫物流業界では国内貨物・輸出入貨物ともに荷動きに回復の兆しは見られるものの、物価上昇や円安の影響など予断を許さない状況であり、また、不動産業界では都市部におけるオフィスビルの空室率上昇が続いており、引き続き厳しい状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、2030年のあるべき姿を描いた「長期ビジョン2030」と、長期ビジョンを実現するための計画として2022年度から2024年度までの3年間を対象期間とする中期経営計画「変わらず、変える。YASDA Next Challenge 2024」を策定し、事業体制の構築と更なる成長を目指しております。物流事業においては、付加価値の高いサービスの提供に向けたソリューションの強化とネットワークの拡充により取引の拡大や物流施設の増強など事業基盤の強化を推し進め、また、不動産事業においては、保有不動産の維持管理と価値向上施策を通じ、稼働率の維持・向上や保有不動産の再開発促進に努め、事業拡大を推進してきました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、不動産事業が減収となった一方、物流事業が増収となったことにより、営業収益は、前年同期比4,445百万円増（17.7%増）の29,589百万円となりました。また、各種営業原価や販管費の増加などにより、営業利益は、前年同期比163百万円減（11.7%減）の1,229百万円、経常利益は、受取配当金や為替差益の増加により前年同期比161百万円増（8.1%増）の2,150百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比138百万円増（10.9%増）の1,409百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

物流事業では、新規取引の開始や既存顧客の取引拡大、輸配送ネットワークの拡充、海上運賃の高騰や航空輸送の増加などにより倉庫保管料、作業料、陸運料及び国際貨物取扱料で増収となった一方、修繕費の増加や燃料費、光熱費の高騰などにより減益となりました。その結果、物流事業の営業収益は前年同期比4,795百万円増（21.9%増）の26,684百万円、セグメント利益は前年同期比32百万円減（2.2%減）の1,460百万円となりました。

不動産事業では、既存施設の稼働率維持により不動産賃貸料は堅調に推移したものの、前年同期に計上した大規模な施工工事の影響により営業収益は前年同期比354百万円減（10.1%減）の3,158百万円、セグメント利益は前年同期比106百万円減（9.4%減）の1,021百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、固定資産の増加もありましたが、主に現金及び預金の減少により、前連結会計年度末に比べ44百万円減の159,038百万円となりました。

負債については、主に長期借入金の返済により、前連結会計年度末に比べ1,216百万円減の82,949百万円となりました。

純資産については、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比べ1,172百万円増の76,089百万円となりました。以上の結果により自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.7ポイント増の47.6%となりました。

なお、当社グループは長期借入金の調達にあたり、調達額の一定割合に対して格付上の資本性認定を受けることが出来る劣後特約付ローンによる資金調達を行っており、同ローンの資本性を考慮した格付上の自己資本比率は、54.7%となります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,696百万円減の16,502百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、主に売上債権の増加や法人税等の支払による減少もありましたが、税金等調整前四半期純利益や減価償却費の資金留保により、2,697百万円増（前年同期は1,022百万円増）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、主に固定資産の取得による支出により2,919百万円減（前年同期は5,130百万円減）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、主に借入金の返済により1,955百万円減（前年同期は2,825百万円増）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月9日に発表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,224	16,541
受取手形及び営業未収金	8,397	9,626
商品	3,212	3,025
その他	1,095	1,109
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	30,927	30,300
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	36,438	36,259
機械装置及び運搬具（純額）	2,298	2,180
工具、器具及び備品（純額）	858	860
土地	36,980	37,036
建設仮勘定	166	1,130
有形固定資産合計	76,741	77,468
無形固定資産		
のれん	741	684
借地権	1,016	1,016
その他	1,715	2,105
無形固定資産合計	3,472	3,805
投資その他の資産		
投資有価証券	44,865	44,538
繰延税金資産	556	559
退職給付に係る資産	302	324
その他	2,236	2,060
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	47,940	47,463
固定資産合計	128,154	128,737
資産合計	159,082	159,038

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	4,013	4,827
短期借入金	4,370	4,370
1年内償還予定の社債	62	62
1年内返済予定の長期借入金	2,913	2,568
未払法人税等	604	539
未払費用	1,544	1,567
その他	2,367	1,738
流動負債合計	15,875	15,673
固定負債		
社債	10,362	10,331
長期借入金	38,448	37,502
繰延税金負債	12,311	12,207
退職給付に係る負債	2,155	2,201
長期預り敷金保証金	3,971	4,052
その他	1,040	980
固定負債合計	68,289	67,275
負債合計	84,165	82,949
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,602	3,602
資本剰余金	2,814	2,814
利益剰余金	40,091	41,122
自己株式	△1,180	△1,175
株主資本合計	45,328	46,363
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,932	28,706
為替換算調整勘定	△58	291
退職給付に係る調整累計額	375	349
その他の包括利益累計額合計	29,249	29,347
非支配株主持分	338	377
純資産合計	74,916	76,089
負債純資産合計	159,082	159,038

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業収益		
保管料	4,031	4,213
倉庫作業料	4,031	4,371
陸運料	8,010	10,648
国際貨物取扱料	3,552	4,768
物流賃貸料	794	892
不動産賃貸料	2,214	2,334
その他	2,509	2,361
営業収益合計	25,144	29,589
営業原価		
作業費	10,161	12,496
人件費	4,957	6,364
賃借料	1,583	1,717
租税公課	538	566
減価償却費	1,545	1,673
その他	3,215	3,582
営業原価合計	22,002	26,400
営業総利益	3,142	3,189
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	688	807
福利厚生費	118	136
退職給付費用	16	31
減価償却費	90	84
支払手数料	237	232
租税公課	92	77
その他	505	588
販売費及び一般管理費合計	1,749	1,959
営業利益	1,392	1,229
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	707	859
為替差益	1	327
雑収入	60	46
営業外収益合計	770	1,234
営業外費用		
支払利息	172	297
借入関連費用	-	14
雑支出	1	1
営業外費用合計	174	313
経常利益	1,988	2,150

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）
特別利益		
固定資産売却益	2	13
特別利益合計	2	13
特別損失		
固定資産売却損	0	4
固定資産廃棄損	79	41
投資有価証券評価損	22	-
特別損失合計	101	46
税金等調整前四半期純利益	1,889	2,116
法人税、住民税及び事業税	600	663
法人税等調整額	0	7
法人税等合計	600	671
四半期純利益	1,288	1,445
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	36
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,270	1,409

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,288	1,445
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	109	△225
為替換算調整勘定	179	371
退職給付に係る調整額	△13	△25
その他の包括利益合計	275	120
四半期包括利益	1,564	1,565
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,538	1,507
非支配株主に係る四半期包括利益	25	58

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,889	2,116
減価償却費	1,636	1,758
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△4	△0
退職給付に係る資産負債の増減額	△37	△13
受取利息及び受取配当金	△708	△861
支払利息	172	297
固定資産売却損益（△は益）	△1	△8
固定資産廃棄損	79	41
売上債権の増減額（△は増加）	△617	△1,171
棚卸資産の増減額（△は増加）	△1,536	186
仕入債務の増減額（△は減少）	144	776
預り敷金及び保証金の増減額（△は減少）	△4	77
その他	229	△327
小計	1,242	2,872
利息及び配当金の受取額	707	861
利息の支払額	△173	△298
法人税等の支払額	△755	△736
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,022	2,697
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△11
有形固定資産の取得による支出	△4,798	△2,460
有形固定資産の売却による収入	7	22
無形固定資産の取得による支出	△283	△422
投資有価証券の取得による支出	△0	△2
投資有価証券の売却による収入	0	-
その他	△54	△45
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,130	△2,919
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	4,100	120
短期借入金の返済による支出	△100	△120
長期借入れによる収入	1,029	200
長期借入金の返済による支出	△1,735	△1,625
社債の償還による支出	△31	△31
自己株式の取得による支出	△0	-
配当金の支払額	△421	△377
その他	△15	△121
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,825	△1,955
現金及び現金同等物に係る換算差額	65	480
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,217	△1,696
現金及び現金同等物の期首残高	8,680	18,199
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,463	16,502

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自2021年4月1日 至2021年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	21,879	3,264	25,144	-	25,144
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	8	248	257	△257	-
計	21,888	3,513	25,401	△257	25,144
セグメント利益	1,493	1,127	2,620	△1,228	1,392

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,228百万円には、セグメント間取引消去△22百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,205百万円が含まれております。全社費用は、親会社の総務部門等、管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	26,676	2,913	29,589	-	29,589
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	7	244	252	△252	-
計	26,684	3,158	29,842	△252	29,589
セグメント利益	1,460	1,021	2,481	△1,251	1,229

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,251百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,252百万円が含まれております。全社費用は、親会社の総務部門等、管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。